

第8回 SENDAI BAY TEAMCHALLENGE CUP 実施要項

- 主催 (社) 宮城外洋帆走協会 (MORC)
主管 (社) 宮城外洋帆走協会小浜松島フリート
後援
- 開催日程 艇長会議 (小浜MORC事務局) 2005年10月7日 (金) 17:00~18:00
第1レース 仙台港沖 10月8日 (土)
第2レース 仙台港沖 10月9日 (日)
表彰式・パーティー 塩釜市浦戸漁協施設 (桂島)
- 適用規則 ISAFセーリング競技規則 (2005~2008年版) (以下RRSと呼ぶ)、海上衝突予防法、帆走指示書および公示
- 参加資格
1. 参加艇は有効な船検証を有し外洋航行に耐えうる外洋ヨットであること
 2. 乗員のうち、1名以上小型船舶操縦士の免許を有すること
 3. 指定された安全備品を搭載していること
 4. 参加艇は、対人・対物賠償保険に加入していること
 5. 上記1~4を満たし、かつレース委員会が、参加を認めた艇であること
- 参加料 参加艇は以下の参加料を現金または振込みにて艇長会議までに支払わなければならない。
艇参加料 12,000円 (1レースの場合 8,000円)
個人参加料 4,000円 (1レースの場合 3,000円)
*パーティーのみ参加の場合は、当日3,000円徴収します。
- 参加申込 2005年9月30日 (金) 17:00まで
参加申込書をFAXにてMORC事務局 (022-357-6884) に提出
- クラス分け 各艇のMORC TCFレーティングにより、以下のように分類する。
Aクラス (おおむね40ftを超える大型艇、35ft以上のグランプリレーサー等)
Bクラス (A、Cクラスに属さない艇)
Cクラス (30ft以下の艇、35ft以下のクルージング艇等)
- TEAM構成 チームは3艇で編成し参加することを原則とするが、やむを得ない場合のみ単独での参加も許容する。
ただしCクラスを含むものとする。含まない場合はチーム得点に2を加える。
- 乗員の変更 乗員に変更がある場合は、2005年10月7日 17:00までにレース委員会に申告しなければならない。申し出があった乗員について参加料を別途徴収または返却する。
それ以降の増員による参加料の徴収はおこなうが、減員による返却はおこなわない。
- 請求権の否認 本実施団体は、レースに参加したことにより生じた陸上および海上での、人および物に対するいかなる損失、損害、負傷および不都合などに対して一切の責任を負わない。

以上

帆走指示書

1. 適用規則

本レースは、I S A Fセーリング競技規則（2005～2008年版）（以下RRSと呼ぶ）実施要項、本帆走指示書を適用する。

2. 競技者への通告

艇長会議後の本帆走指示書の変更は海上の掲示板に掲示することにより行う。

3. レースエリア（別紙参照）

第1レース（1日目）

S → (洞掛浮標) → 仙台港沖A浮標 → NO.2(オレンジブイ) → F (洞掛浮標)
[反時計廻り]

第2レース（2日目）

S (塩釜港NO.1浮標) → 仙台港沖A浮標 → F (洞掛浮標)
[反時計廻り]

4. スタート

4-1 スタート

第1レース（1日目）

スタートラインは白色ブイと本部艇に掲げたオレンジフラッグの間とし、本部艇を右舷に見てスタートを行う。スタートは時差スタートとする。

スタート時刻（時報）	Cクラス	9:30 AM
	Bクラス	9:50 AM
	Aクラス	10:10 AM

第2レース（2日目）

スタートラインは白色ブイと本部艇に掲げたオレンジフラッグの間とし、本部艇を右舷に見てスタートを行う。スタートは各クラス一斉同時スタートとする。

スタート時刻（時報）	9:30 AM
------------	---------

4-2 スタートラインの閉鎖

スタート信号後、30分を経過した後はスタートしてはならない。

4-3 スタート信号

5分前（予告信号）	MORC旗掲揚	短音1声
4分前（準備信号）	P旗掲揚	短音1声
1分前	P旗降下	長音1声
スタート	MORC旗降下	短音1声

4-4 エンジンの使用

エンジンの使用は、予告信号までとする。

5. リコール

5-1 リコール

リコール艇があった場合はRRS 29.2 に従い、X旗を掲揚し音響1声を発する。またX旗はすべてのリコール艇がスタートラインに復帰するか、スタート信号後4分のいずれか早い方で降下する。

5-2 ゼネラルリコール

ゼネラルリコールとなった場合には、RRS 29.3 に従い第一代表旗を掲げ、音響2声を発する。

新たなスタートの準備信号は第一代表旗降下1分後に発せられる。

6. フィニッシュおよびコース短縮

フィニッシュラインは白色ブイと本部艇(ブルーフラッグを掲げる)の間とし、本部艇を右舷に見てフィニッシュする。

7. レーティング

レーティングはMORC TCFレーティングを採用する。参加艇のレーティングは本大会レース委員会で決定する。本レーティングの算出に関する全ての権限は、本大会レース委員会が持つものとする。

8. タイムリミット

第1レース 14:30

第2レース 12:30

9. リタイア

リタイアするヨットは速やかにレース委員会に報告しなければならない。

10. 順位

修正順位はMORC TCFレーティングによりレース委員会が算出する。RRS付則A2の低得点方式を採用する。TEAMポイントは、クラス別順位点で算出する。ファーストホーム賞・コック賞は第1レースのみとし、スタートの時間に関わらず最初にフィニッシュした艇にファーストホーム賞最終にフィニッシュした艇にコック賞が与えられる。Cクラスを含まないチームは総得点に2が加算される。

11. 失格に変わる罰則

720度ルールを採用する。また、回航方法の手順に従わなかった場合は、5%修正時間タイムペナルティとする。

12. 抗議

12-1 抗議はRRS 60,61により行われる。

12-2 抗議の意思を示すヨットはRRS61.1に基づく。抗議旗はバックステーに200×300mm以上のB旗または赤旗を掲げなければならない。その高さは旗の下端がデッキから1,500mm以上とする。

12-3 抗議手数料は10,000円とし、抗議が成立した場合はこれを返却する。

12-4 抗議の締切りは最終艇フィニッシュ後40分以内とする。

12-5 抗議書は、RRS指定様式に各自記入の上、手数料と共にレース委員会に提出しなければならない。

12-6 裁定の権限の一切は本大会レース委員会が持つものとする。本レースの裁定は、これをもって最終とする。

13. 支援艇および観覧艇

レース中は、レースに影響するであろう海状等の情報入手等のための、支援艇やこれに類する団体・人との交信を一切認めない。また、運営艇・観覧艇・伴走艇は全て障害物と見なすものとする。

14. 出艇及び帰着

出艇申告は特に行わない。リタイアするヨットのみ陸上またはスタート海面にてレース委員会に申告するものとする。

15. 通信

15-1 参加艇はマリンVHFまたは携帯電話を搭載すること。

15-2 当レース委員会は安全の観点からマリンVHFの搭載を強く希望する。

15-3 当レース委員会はアマチュア無線をワッチすることがある。

16. 賞

第1レース（1日目）

ファーストホーム賞 宮城県知事杯

コック賞

第2レース（2日目）終了後

T E A M 1位 SENDAI BAY TEAM CHALLENGE CUP

クラス別総合 1位 2位

17. 本部連絡先

マリンVHF 77ch（宮城外洋帆走協会海岸局の呼出）

マリンVHF 68ch（本部艇と各艇間の通信）

本帆走指示書は、艇長会議にて最終決定します